

(別添：意見提出様式)

『利根川・江戸川において今後20~30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①氏名			
②住所	(都県名) 茨城県	(市区町村名) 取手市	
③電話番号又は メールアドレス			
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・50代	60歳以上	⑤性別 男性 <input checked="" type="radio"/> 女性 <input type="radio"/>
⑥ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)			

意見募集のやり方に反対  
 目標流量だけではなく河川整備計画の全体像  
 に意見を求めるべきです。

『利根川・江戸川において今後20~30年間で目指す安全の水準についての考え方ー「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量についてー』に関する意見

① 氏名	[REDACTED]		
② 住所	(都県名) 千葉県	(市区町村名) 佐倉市	[REDACTED]
③ 電話番号又は メールアドレス	[REDACTED]		
④ 年代	60歳以上	⑤ 性別	女性
⑥ ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)			
<p>17,000 m<sup>3</sup>という「目標流量」は、過去の実績流量から考えても過大であり、採用することに反対です。このような数字を基に整備計画をつければ、自ずと八ッ場ダムが必要だという結論に達します。</p> <p>そもそも「利根川・江戸川河川整備計画」策定に当たって、なぜ今後20~30年間で目指す安全の水準に対応する「治水対策に係る目標流量」を設定することとしたのか疑問です。八ッ場ダムが必要であるという結論に導くための設定であるとしか考えられません。従って、このような意見募集の仕方そのものがおかしいと考えます。</p> <p>利根川の治水安全度を高めるには、莫大な費用が何年にもわたりかかり治水効果のない八ッ場ダム建設ではなく、安くてすぐに取り掛かれる堤防の強化こそ必要です。</p> <p>役人の皆さんの辞書には、公正、謙虚、責任といった言葉はないのでしょうか？ もう、ウソを並べて、國民をだますのはやめてください。ダムありきではなく、本当に必要な対策は何かを、住民の側に立って議論し、整備計画を策定してください。そのために御用学者ばかりをそろえるのではなく、ダムに疑問をもっている知識人も半数は入れて検討してください。</p>			

[ / ]

(別添：意見提出様式)  
『利根川・江戸川において今後20~30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①氏名			
②住所	(都県名) 千葉県	(市区町村名) 印旛郡	
③電話番号又は メールアドレス			
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・50代・ <input checked="" type="radio"/> 60歳以上	⑤性別	男性・ <input checked="" type="radio"/> 女性
⑥ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)			

利根川の治水安全度と目標流量について  
(60歳以上の設定が、疑問に思い、反対します。  
利根川流域住民の安全のためには高い必要性  
ことは何か、移転的手段等が必須です。  
八千鳥地点の最大実績流量をみても、  
関東地方整備局の既定流量は、既定ではなく  
ありません。科学的にはもともとない流量の  
ことです。(う)  
負の遺産を次世代へ残さず、  
賢明な判断、決断をくくんでい。

『利根川・江戸川において今後20~30年間で目指す安全の水準についての考え方ー「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量についてー』に関する意見

①氏名			
②住所	(都県名)	(市区町村名)	佐倉市
③電話番号又はメールアドレス			
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・50代・ <input checked="" type="radio"/> 60歳以上	⑤性別	男性 <input checked="" type="radio"/> 女性
⑥ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)			
<p>利根川流域の住民の安全を守るために何が本当に必要なかの議論を優先すべきです。</p> <p>「治水安全度」という住民にわかりにくいパラメータを求めるのではなく、脆弱な堤防の強化対策や、ゲリラ豪雨による内水氾濫への対策を早急にすべきです。</p> <p>最小の費用で最大の効果がありかつ、長い年月を要しない対策を住民と共につくりあげて下さい。</p>			

(別添：意見提出様式)  
『利根川・江戸川において今後20~30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①氏名	[REDACTED]		
②住所	(都県名) 埼玉県	(市区町村名) 蕨市	
③電話番号又は メールアドレス	[REDACTED]		
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・50代・ <u>60歳以上</u>	⑤性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男性・女性
<p>⑥ご意見  (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)</p> <p>(1) まずはじめに「目標流量」についてパブリックコメントを求める、という考え方あるいは手法について反対です。整備計画全体について意見を求めるべきです。</p> <p>(2) 「目標流量」にこだわる考え方 自体に反対です。“想定外”的事態が発生しても被害を最小限におさえる方法を考えるべきです。</p> <p>(3) 「目標流量」の数値そのものにも反対です。過去の実績からみても <math>12,000 \text{ m}^3/\text{秒}</math> 程度でしょうし、これ迄の計画では <math>15,000 \text{ m}^3/\text{秒}</math> 程度だった筈です。勝手に目標流量を増やすのは何か別の意図が感じられます。</p> <p>(4) 上記(1)と関連しますが、現在緊急に行うべき事は破堤の危険性がある箇所を補強する事がと思います。そういう意味でも、このパブリックコメント募集のやり方に反対です。</p>			

( )

(別添：意見提出様式)  
 「利根川・江戸川川における20~30年間で目指す安全の水準について一歩に及ぶる意見  
 川・江戸川(河川整備計画)における治水対策に係る目標流量について」に関する意見

①氏名 [REDACTED]	②住所 千葉県 市	③郵便番号又は メールアドレス [REDACTED]	④市区町村名 千葉市
⑤年代 20歳未満・20代・30代・40代・50代・60歳以上	⑥性別 男性・女性	⑦ご意見 [REDACTED]	

(意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)

これから20年後には巨額の河川予算と手足の間に  
 投入することになります。流域住民の安全を守る  
 ための緊急の文書策定と並行して政策を進めて行く  
 べきです。このまずは氾濫の危険がある  
 状態が何十年に及ぶと言われます。

過大な目標流量を設定して、過剰な河川施設の  
 建設を進めるところは関東地方整備局の考とは、流域  
 住民の安全を守ることを疎かにすすめのと述べいます。

(別添：意見提出様式)

『利根川・江戸川において今後20~30年間で目指す安全の水準についての考え方ー「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量についてー』に関する意見

①氏名	[REDACTED]		
②住所	(都県名) 埼玉県	(市区町村名) さいたま市浦和区	[REDACTED]
③電話番号又は メールアドレス	[REDACTED]		
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・ <input checked="" type="radio"/> 50代・60歳以上	⑤性別	<input checked="" type="radio"/> 男性・ <input type="radio"/> 女性
⑥ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)			
<p>利根川水系河川整備計画の策定について、治水安全度と目標流量だけのパブリックコメントを求めるという行為に納得がいきませんので反対します。</p> <p>また目標流量は過大ではありませんか？</p> <p>カスリーン台風以後、利根川の洪水は10,000 m³/秒を超えた時はありません。17,000 m³/秒は過大であると考えられます。</p> <p>利水、治水、環境を含め河川整備計画全体の意見を求めるパブリックコメントであるべきです。河川の管理者として、国民の命と財産を守るために、もっと思慮深く多岐な事柄を考えた河川整備計画の策定に努力してください。</p>			

---

差出人: [REDACTED]  
送信日時: 2012年6月22日金曜日 18:07  
宛先: tone-plan2@ktr.mlit.go.jp  
件名: 「利根川・江戸川河川整備計画」事務局宛

上記の件について意見を申し上げさせていただきます。

①氏名 : [REDACTED]  
②住所 : 埼玉県越谷市 [REDACTED]  
③メール : [REDACTED]  
④年代 : 60才以上  
⑤性別 : 男性  
⑥意見 :

(1) 「利根川・江戸川において今後 20~30 年間で目指す安全の水準について」  
余裕を見たらきりが無い。過度に治水安全度を見る必要はない。2006~2008 年の  
治水安全度の 1/50 で検討すべき。

(2) 「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について…  
最近 60 年間で八斗島地点の最大実績流量は 1998 年の 10,000m<sup>3</sup>/秒程度であるので  
17,000m<sup>3</sup> は余りに過大。11,000~12,000m<sup>3</sup> で計算すべきと考えます。

以上

---

差出人: [REDACTED]  
送信日時: 2012年6月22日金曜日 20:43  
宛先: tone-plan2@ktr.mlit.go.jp  
件名: 利根川、江戸川河川整備計画の意見書提出

千葉県船橋市 [REDACTED]  
[REDACTED]

ハツ場ダムを造るのではなく、壊れて被害が出そうな堤防がどこなのか  
調査して、安い費用で堤防の強化をしてください。  
スーパー堤防はお金がかかりすぎるのでやめてください。  
ハツ場ダムができて水が溜められたら、あの美しい吾妻渓谷が水没し、  
豊かな源頼朝の源泉も水没してしまいます。  
がけ崩れして、道路も新造成地も壊れてしまうかもしれません。  
千葉県はもう人口も減り、水は余っています。  
治水も、ハイブリッド堤防ならかなり安くできます。  
考え方直してください。

『利根川・江戸川において今後20～30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①氏名			
②住所	(都県名) 東京都	(市区町村名) 小平市	
③電話番号又はメールアドレス			
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・ <input checked="" type="checkbox"/> 50代・60歳以上	⑤性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男性・女性
<p style="text-align: center;">⑥ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)</p> <p>1/70～1/80も17000m<sup>3</sup>も信用できない数値です。</p> <p>八ッ場ダムの検証では「1年に1回の洪水から、50年に1回までの洪水を想定した利根川の洪水被害発生額は、年平均値4,820億円である」としています。一方「昭和26年以降の60年間、利根川本川の八斗島下流部及び江戸川本川において破堤した場所はない」ともしています。このような過大な被害想定に基づく費用対効果算定で、八ッ場ダムが必要と結論を出した時の治水安全度、目標流量が、今回の数値です。到底信用できない、過大な数値です。</p>			

『利根川・江戸川において今後20～30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①氏名			
②住所	(都県名) 群馬県	(市区町村名) 前橋市	
③電話番号又はメールアドレス			
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・50代・60歳以上	⑤性別	男性・女性

⑥ご意見

(意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)

1 今回のパブリックコメントは、利根川水系河川整備計画を策定するに当たり、治水安全度1/70～1/80、治水目標流量17,000 m<sup>3</sup>/秒を提示し、それについて意見を求めるものです。これは、17,000 m<sup>3</sup>/秒を前提として求められた、恣意的な計算によるハッ場ダムの治水効果を既成事実化し、利根川河川整備計画にハッ場ダム計画を組み込むことを企図したものであると言わざるを得ません。

2 今回のパブコメの説明には、治水目標流量(17,000 m<sup>3</sup>/秒)の設定により、どのような対策が必要となるのか、ハッ場ダムを含めて具体的な説明は何もありません。これでは流域住民にとって、パブコメが何を意味するのかを理解するのは困難です。

国土交通省関東地方整備局は、パブコメで流域自治体等から大きな治水安全度を求める声があることをもって、過大な治水目標流量を正当化しようとすると考えられます。国民が知らないうちにハッ場ダム計画を推進するパブコメのあり方は、説明責任が求められる行政の手法として不適切です。

3 最近60年間で八斗島地点の最大実績流量は1998年の10,000 m<sup>3</sup>/秒程度ですから、パブコメで提示された17,000 m<sup>3</sup>/秒はきわめて過大な数字です。関東地方整備局は17,000 m<sup>3</sup>/秒は70～80年に一度の洪水に相当する流量としていますが、それは現実から遊離した机上の洪水流出計算モデルで求めたもので、科学的な根拠はありません。

4 この洪水流出計算について国土交通省では昨年、日本学術会議のお墨付きを得たとしていますが、むしろその会議資料によって、洪水流出計算の非科学性が明確になっています。学術会議といっても、構成委員の大半はいわゆる河川ムラの御用学者であり、その審議結果は信頼できるものではありませんでした。利根川の洪水流量について科学的な計算を行えば、1/70～1/80の洪水は17,000 m<sup>3</sup>/秒よりはるかに小さい流量になります。

5 治水目標流量は机上の計算ではなく、実際の洪水流量(実績洪水流量)をもとにすべきです。治水計画は基本的に過去の洪水の再来に備えるように策定されるべきで、利根川の場合は、昭和20年代前半(戦争直後で森林の荒廃という特殊状況にあった)を除いて、最近60年間の

最大洪水実績流量をベースにすべきです。その最大流量は1998年の約10,000m<sup>3</sup>/秒ですから、それに余裕を見た12,000～13,000m<sup>3</sup>/秒が治水目標流量としてふさわしいと考えられます。

6 さらに、利根川水系河川整備計画の策定で何よりも考えなければならないことは、利根川流域の住民の安全を守るために今、何が必要とされているか、ということです。

これから時代はつくりすぎたインフラ施設の更新・維持管理の費用が急増していく時代ですから、巨額の河川予算を利根川に投入し続けることは不可能です。流域住民の安全を守るために喫緊の対策を厳選し、そこに河川予算を集中しないと、氾濫の危険がある状態が半永久的に放置されることになります。過大な目標流量を設定して、巨大な河川施設の建設を優先して進めようとする関東地方整備局の方針は、流域住民の安全を蔑ろにするものです。

7 利根川で必要とされている喫緊の治水対策の一つは、脆弱な堤防の強化対策です。

国土交通省の調査により、利根川及び江戸川の本川・支川では、洪水の水位上昇時にすべり破壊やパイピング破壊を起こして破堤する危険性がある脆弱な堤防が各所にあることが明らかにされており、破堤の危険性がある区間の割合は利根川62%、江戸川60%に及んでいます。破堤による甚大な被害を防ぐために、脆弱な堤防の強化工事を早急に進める必要があります。

8 もう一つの喫緊の対策は、ゲリラ豪雨による内水氾濫への対策です。

昨年9月上旬の台風12号では、群馬県南部で記録的な大雨があり、伊勢崎市等で床上浸水14棟、床下浸水89棟という大きな被害がありました。この時、利根川やその支川からの越流はなく、浸水被害は被災地でのゲリラ豪雨が引き起こした内水氾濫（小河川の氾濫を含む）によるものでした。近年はこのようなゲリラ豪雨が利根川流域の各地で発生しています。雨水浸透施設の設置、排水機場の強化など、内水氾濫対策の実施が急務です。

9 3.11東日本大震災や昨年9月台風12号の紀伊半島水害を踏まえ、利根川においても想定を超える洪水が襲った場合に壊滅的な被害を受けない治水対策を進める必要があります。その対策で中心となるのが耐越水堤防への強化です。現在の堤防は計画高水位までの洪水に対しては破堤しないように設計されていますが、堤防を超える洪水に対しては強度が保証されません。壊滅的な洪水被害は堤防が一挙に崩壊した時に生じるので、堤防を超える洪水が来ても、直ちに破堤しない堤防への強化が必要です。

10 河川整備計画の策定に当たっては、利根川流域の住民の安全を守るために何が本当に必要なのかの議論を優先すべきです。国土交通省関東地方整備局からは、いまだに利根川の河川整備計画の策定をどのように進めるのかの説明がなく、有識者会議のメンバーについても、御用学者に偏った人選を改めるかどうか明らかにされていません。

利根川と同じ関東地方整備局の管轄内の多摩川では、3年をかけて河川整備計画が策定されました。この間、京浜河川事務所と流域住民による堤防等の河道視察、公開討論会が積み重ねられたということです。

ハッ場ダムの本体工事着工の条件を整えるために拙速に河川整備計画を策定しようとするこのようなやり方では、河川行政への不信は高まるばかりです。1997年の河川法改正の主旨に立ち返り、流域住民の意見を反映させた利根川水系河川整備計画の策定を目指すことを求めます。

『利根川・江戸川において今後20～30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

① 氏名	[REDACTED]		
② 所	(都県名) 埼玉県	(市区町村名) 所沢市 [REDACTED]	
③ 電話番号又は メールアドレス	電話番号 : [REDACTED] メールアドレス : [REDACTED]		
④ 年代	20歳未満・20代・30代・40代・50代・60歳以上	⑤ 性別	⑥ 男・女性
⑥ ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)			
<p>1. 法の精神は、流域住民にとって何が最も必要か・水害から住民を守るために、最小の経費で最大の効果を上げるにはいかなる政策が最善かを求める。</p> <p>2. 従って、今回の国民意見募集に当って国交省が問うべき国民の意見は、整備計画の全体図と策定すべき事業の大枠を示し、限られた予算内で最も効率的な対策の方向を求ることである。</p> <p>3. それは、正確な知識を持たない国民に対して、20～30年に一度という比較的短期間と 17,000 m<sup>3</sup>と云う過大な目標数量だけを示して国民を誘導することではない。こういう姑息な手段を通じた私益優先政策は止め、真正面から国民の福祉だけを考えた政策を追求すべきである。</p> <p>4. 限られた予算を効率的に使うための治水対策としてダム以外の選択肢も公平な評価と共に提供すべきである。</p> <p>5. 治水対策としてダムは最悪の選択肢である。即ち、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 水の自然な流れを歪めるため、流域を通じて環境を破壊する。</li> <li>(2) 大雨がたまたま当該ダムの上流に降れば、満杯になるまではそれなりの機能は果たせるが、満杯になったら機能を失い、逆に洪水や大災害の原因になる。</li> <li>(3) 超大型予算を無駄に使う。費用対効果はマイナスである。</li> <li>(4) 多くの場合、地滑りや岩盤崩落のリスクがあり、いずれは堆砂でダム機能は完全に失われる。</li> </ul> <p>6. 治水対策として喫緊の課題は、今年来る可能性もある200年に一度の大洪水に対しても流域住民の安全を図るべきことである。即ち、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 脆弱な堤防を強化すること、</li> <li>(2) 内水氾濫に備えること、</li> <li>(3) 想定外の大洪水にも被害を最小限に抑えられる耐越水堤防を最小限の費用で実施すること。</li> <li>(4) スーパー堤防や首都圏氾濫区域堤防強化対策事業など、治水効果はなく利権だけを目的とした事業は即時中止し、血税は上記のような喫緊の事業に振り向けるべきである。政治・行政の原点に戻って下さい。</li> </ul>			

以上

『利根川・江戸川において今後20～30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①氏名	[REDACTED]		
②住所	(都県名) 神奈川県	(市区町村名) 鎌倉市	
③電話番号又は メールアドレス	[REDACTED]		
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・50代・60歳以上	⑤性別	男性・女性
⑥ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)			

1. 東日本大震災後に始まる河川整備計画策定手続における優先事項について
2. 利根川水系の放射能汚染状況の把握について
3. 2006年に開始した利根川水系河川整備計画策定手続の中止理由について
4. 2007年にパブコメを行った利根川水系河川整備計画案との違いの明確化について
5. 2008年に明らかにしたパブコメ回答の取扱いについて
6. 河川整備計画の策定手続のより賢明な段取りについて
7. 河川整備計画期間の明確化の必要性について
8. 河川整備計画に含めるべき内容の明確化について
9. なぜ「利根川・江戸川河川整備計画」だけかについての理由の明確化
10. 「相対的に高い水準」より絶対的に優先すべき事項の優先について

について、別紙に意見を記載します。

## **1. 東日本大震災後に始まる河川整備計画策定手続における優先事項について**

- 2012年3月11年の東日本大震災により、霞ヶ浦、涸沼などを含め、利根川流域での被害は少なくありませんでした。優先すべき整備があるはずで、限られる予算ですので、優先すべき堤防の整備はどこか、おそらくそれはより東方面であると考えますが、利根川水系流域間で融通をすべきであると考える流域住民がほとんどのはずです。こうした震災被害状況、復旧情報、および緊急に整備しなければならないところはどこか、予算は今後どれぐらい確保されるのか、利根川水系河川整備計画の策定手続にあたっては、こうした基本的な情報を共有する機会としていただきたいと思います。

## **2. 利根川水系の放射能汚染状況の把握について**

- 東日本大震災を契機に始まった東京電力福島第一発電所の爆発により放出された放射線物質により、利根川水系の河川、湖沼はもちろん、そこから取水して利用する上水（上水過程で生じる汚泥）および利用後の下水処理汚泥に到るまで、低濃度から高濃度の汚染が今現在も続いている。霞ヶ浦の天然ウナギなど、出荷停止となる魚種もあるなか、自体は解決とはほど遠い中にあります。こうした河川環境情報についても、共有が行われるべきであり、河川整備計画の策定にあたっては、利根川水系における放射線物質汚染の解決に向けた、知恵だしの場とすべきです。

## **3. 2006年に開始した利根川水系河川整備計画策定手続の理由について**

- 利根川水系河川整備計画は1997年の河川法改正以来、長期に分かって未策定でした。策定手続を2006年に開始し、2007年1月にパブコメを開始、2008年に回答を含めてそれらを発表 ([http://www.ktr.mlit.go.jp/river/shihon/river\\_shihon00000151.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/river/shihon/river_shihon00000151.html)) したのを最後に中断していました。その作業再開にあたり、中断していた理由を明らかにすべきと考えます。報道に対しては、自らの怠慢を2009年後半の政権交代の責任にすり替えているようで、公正な姿勢とは言えず残念です。

## **4. 2007年にパブコメを行った利根川水系河川整備計画案との違いの明確化について**

- 2007年1月のパブコメでは2000通に及ぶ意見が寄せられたとありますが、その元となっている河川整備計画案は、現在、ウェブ上で公開されていないようです。今回の案との関係性が明らかではないので、公開した上で、最低限、前回の案を提示し、今回のパブコメとの関係性や違い（あるいは同一かどうか）について説明をすべきです。

## **5. 2008年に明らかにしたパブコメ回答の取扱いについて**

- 2007年1月のパブコメでは2000通に及ぶ意見が寄せられたとあります。参加意欲を持つこうした人々に、その元となった河川整備計画案と、今回の目標流量との違いについて説明をすることは、信頼関係を築く上で重要であると思われます。
- 2007年1月のパブコメ後も、利根川の河川管理者は、新法附則の経過措置に基づき、（利根川水系河川整備計画が未策定の現在に到るまで）旧法に基づく「利根川水系工事実施基本計画」を進めています。2007年1月のパブコメの中にはそのときの回

答に基づいて、先行して、現行の経過措置中の「利根川水系工事実施基本計画」に反映されたものがあるのかどうか、明らかにすべきだと考えます。

## 6. 河川整備計画の策定手続のより賛明な段取りについて

- パブコメを行う順番としては、河川整備計画案の全体像を先に示すべきではないでしょうか。前回のパブコメのもととなった利根川水系河川整備計画案については、「利根川・江戸川」のみならず、利根川の全域、すなわち「渡良瀬川」「鬼怒川・小貝川」「霞ヶ浦」についても整備計画案が出されました。ところが、今回は「利根川・江戸川において今後20~30年間で目指す安全の水準」に対する意見募集となっており、「利根川・江戸川」に限定されています。全体像を示さなければ、すべてが合流する下流域での治水計画として考えただけでも不十分ではないでしょうか。
- 「渡良瀬川」「鬼怒川・小貝川」「霞ヶ浦」についての案を含んだ案を策定すべきであり、含まないのであれば、それが何故かを明記すべきです。

## 7. 河川整備計画期間の明確化の必要性について

- 整備計画期間については一般論として「20~30年」というフレーズが使われていることはよしとして、「利根川」という特定の河川で整備計画を策定するにあたっては、国、地方共に直面する財政逼迫を考えれば、10年間の開きがある一般論ではなく、何年までに何を行うかという整備期間の明示と、それに対応する具体的な整備計画を明確にすべきであると考えます。

## 8. 河川整備計画に含めるべき内容の明確化について

- 利根川水系の河川整備計画の策定においては、前回の河川整備計画案との関係性が示されていない以上は、改めてゼロから行われる河川整備計画案であるとみなす以外はなく、「開催等関係住民の意見を反映させるため」に、十分な情報提供があるべきです。
- 河川整備計画とは河川法第16条の2で、「河川整備計画は、河川整備基本方針に即し、かつ、公害防止計画が定められている地域に存する河川にあつては当該公害防止計画との調整を図つて、政令で定めるところにより、当該河川の総合的な管理が確保できるように定められなければならない。この場合において、河川管理者は、降雨量、地形、地質その他の事情によりしばしば洪水による災害が発生している区域につき、災害の発生を防止し、又は災害を軽減するために必要な措置を講ずるように特に配慮しなければならない」とされています。従って、最低限でも、
  - 「公害防止計画が定められている地域」が利根川水系に含まれているかどうか、
  - 含まれているとすれば、どのような「公害防止計画」か、
  - その「公害防止計画との調整」を図るために何を行うか、
  - 「しばしば洪水による災害が発生している区域」とは利根川水系の場合どこか、
  - その「災害を軽減するために必要な措置」とはどのようなものを考えているかそれらが分かりやすく具体的に示されていなければ、環境保全の観点からも、治水計画の観点からも不十分です。ところが、今回の意見募集は、中身を見てもこれらについては一切の情報が示されていません。

- 同第16条の2において「河川整備基本方針に即し」とある以上は、河川整備計画がそれに沿っているかどうかの確認が行われるべきであり、河川整備基本方針で決定した情報についても提供されなければ適切な河川整備計画の策定手続とは言えません。
- 「河川整備基本方針」は、河川法第16条において「水害発生の状況、水資源の利用の現況及び開発並びに河川環境の状況を考慮し、かつ、国土形成計画及び環境基本計画との調整を図つて、政令で定めるところにより、水系ごとに、その水系に係る河川の総合的管理が確保できるように定められなければならない」とあります。利根川河川整備基本方針は、2005年に策定作業を追えており、すでに7年が経過しているため、河川整備計画で求められている事項の元となる「水害発生の状況」「水資源の利用の現況及び開発」「河川環境の状況」も変化しています。また、この間、国土形成計画、環境基本計画も改訂されており、こうした情報も提供があって然るべきです。
- その上で「その水系に係る河川の総合的管理が確保できるよう」と定められたのが河川整備基本方針であるため、利根川流域の人々にこうした考え方への理解を深めることが、河川整備基本方針に即した他河川整備計画となることの重要な要件ではないでしょうか。
- しかし、今回のような提示の仕方では、あたかも民主党政権の藤村官房長官裁定によるハツ場ダム本体工事着工へ向かうための条件をクリアするためだけに、この手続を矮小化し、本来の河川行政の王道である河川整備計画の策定をなおざりにしていると言わざるを得ません。

#### 9. なぜ「利根川・江戸川河川整備計画」だけかについての理由の明確化

- 今回のパブコメには「国土交通省関東地方整備局では、「利根川・江戸川河川整備計画」の策定に向けた取り組みを進めているところです」とあります。また「今回、利根川・江戸川において今後20~30年間で目指す安全の水準について、河川管理者としての考え方をお示しし、関係する住民の皆様から広くご意見を募集しますので、お知らせします」とありますが、「渡良瀬川」「鬼怒川・小貝川」「霞ヶ浦」はどうするのでしょうか。
- 「関係住民の意見を反映」させるとの1997年改正以来、すでに15年が経ちますが、「渡良瀬川」「鬼怒川・小貝川」「霞ヶ浦」では不作為を続けるのでしょうか。

#### 10. 「相対的に高い水準」より絶対的に優先すべき事項の優先について

- 「全国の他の河川における水準と比較して相対的に高い水準（年超過確率1/70~1/80）とすることが適切と考えています」ということに対して意見を寄せて欲しいということですが、この「相対的に高い水準」を、どのような方策によって、いくら（予算）で、いつまでに（期間）、誰の負担として支払いが行われていくかを明らかにしていただきたいと思います。机上で「高い水準」を決めても真の治水にも利水にもましてや環境保全にもつながりません。「高い水準」とは相対的なものであり、絶対的に優先すべき事項について不明な点について明らかにしていただければ幸いです。

『利根川・江戸川において今後20～30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①氏名	[REDACTED]		
②住所	(都県名) 埼玉県	(市区町村名) 川口市	
③電話番号又は メールアドレス	[REDACTED]		
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・50代・ <b>60歳以上</b>	⑤性別	<input checked="" type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性
<p style="text-align: center;">⑥ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)</p>			

### 1、目指す安全の水準に対する意見

「目指す安全の水準」は、利根川水系の重要性（氾濫区域内の人口・資産 等）から、年超過確率1／70～1／80よりも安全を目指す事が望ましいが、今後20～30年で実現可能な範囲として最低の水準と考えます。

利根川水系河川整備基本方針では、治水整備の目標を1／200と定められている。この安全の目標に向け、確実な整備が必要。

### 2、目標流量に対する意見

「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量は、17,000t/s以上とする。

治水対策として、洪水を「貯める」「流す」が基本であり、

「貯める」事業として、地元の了解が得られていて、かつ下流都県が応援しているハッ場ダムを早急に建設する。

「流す」事業として、現在実施中の堤防強化、河道拡幅、浚渫 等の事業を推進する。

### 3、目標流量を達成するための意見

ハッ場ダムの建設は、生活再建事業が進捗している。平行してダム本体に着工して同時完成が望ましいが、現在の状況では、ダム本体工事の完成が生活再建事業に対して遅れている。新たな生活がスタートする時には、ダムが完成している事が望ましいので、早期のハッ場ダム本体の着工を望みます。

想定を越える洪水は何時襲来するか解りません（今年かもしれない）

治水対策（「貯める」「流す」）、水防活動（避難を含む）、復旧対策について、河川管理者・地方自治体・流域住民の連携と総合的な対策のそれぞれが必要です。どれかで代替できるものではありません。

現在進めているハッ場ダムを含む利根川・江戸川河川整備計画の早期策定が必要と考えます。

---

差出人: [REDACTED]  
送信日時: 2012年6月23日土曜日 11:02  
宛先: tone-plan2@ktr.mlit.go.jp  
件名: 利根川・江戸川河川整備計画 事務局宛

氏名: [REDACTED]  
住所: 千葉県市原市  
電話: [REDACTED]  
年代: 60才以上  
性別: 女性

<意見>

- ①今回の意見募集のやり方そのものに反対です。  
今や、異常気象が常態となり、ゲリラ豪雨の頻発しています。  
住民は、内水氾濫を一番心配しています。河川の危険箇所の丁寧な検証、説明が先行すべきです。
- ②なぜ17000m<sup>3</sup>に変更なのか、その根拠が説明されていない以上、認められません。  
ダム計画続行のための変更としか思えません。  
今日の気象状況を見据えて、治水のあり方、河川整備計画そのものをゼロから検証し策定し直すべきです。

『利根川・江戸川において今後20~30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①氏名			
②住所	(都県名) 埼玉県	(市区町村名) 三郷市	
③電話番号又は メールアドレス			
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・50代・ <u>60歳以上</u>	⑤性別	男性・女性
⑥ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)			

#### 意見 1

今回のパブコメは治水安全度1/70~1/80について意見を求めるものである。治水安全度だけを切り離して聞けば、一般には治水安全度は高い方がベターだと思うであろうから、今回のパブコメは一般の人の心理を利用して1/70~1/80への賛意を得てしまおうというもので、やり方があまりにも姑息である。治水安全度1/70~1/80を得るためににはどのような河川施設が必要で、どの程度の費用がかかり、さらに環境への影響がどうなのかを同時に示さなければ、適正な判断ができないにもかかわらず、それらを一切示さずに治水安全度のみのパブコメを行うのはきわめてアンフェアなやり方である。

#### 意見 2

関東地方整備局の狙いは、治水安全度1/70~1/80に賛意があることをもって、それと一体的に書かれている治水目標流量(八斗島地点)17,000 m<sup>3</sup>/sも賛意が得られたとし、そのことによって、17,000 m<sup>3</sup>/sを前提として位置づけられているハッ場ダム事業などを河川整備計画に盛り込めるようにすることにある。パブコメの治水安全度の話がいつのまにか、ハッ場ダムなどの大規模河川事業につながるようにしており、まことに狡猾である。

#### 意見 3

国交省は、治水安全度1/70~1/80は治水目標流量17,000 m<sup>3</sup>/sに相当するとしているが、そのことに科学的な根拠はなく、正しくはもっと小さい流量である。17,000 m<sup>3</sup>/sは国交省が基本高水流量の算出に使用した同じ洪水流出計算モデル(貯留関数法)で求めたものであるが、このモデル自体が問題である。日本学術会議のお墨付きを得たとしているが、学術会議はこのモデルが持つ基本的な問題を説明することができなかった。すなわち、昭和22年洪水をこのモデルで再現計算すると、21,100 m<sup>3</sup>/秒になるが、実績流量の推定値は最大で見て17,000 m<sup>3</sup>/秒であり、なぜ4,000 m<sup>3</sup>/秒以上という大きな差が生じるのか、学術会議は合理的な説明ができなかった。

#### 意見 4

国交省は、治水安全度1/70~1/80は治水目標流量17,000 m<sup>3</sup>/sに相当するとするのに、雨

量確率を流量確率に置き換える総合確率法という方法も用いているが、これは科学性が疑われている方法である。学術会議での議論でも、「総合確率法は学術的な研究成果に基づくものなのか。ある生起確率に基づく降水量とそのときの時空間分布については学術的な検討が十分なされていない。総合確率法の中で平均を取ることは降雨の時空間分布が等確率であることを前提とする。そうしてよい理屈があるか。科学的に明らかになつてない仮定を前提とする手法に対して、学術会議が合理的であると回答してよいのか。」(第5回分科会の議事録)と、根本的な疑問が投げかけられた。

#### 意見 5

しかし、日本学術会議は意見3で述べた基本的な矛盾、意見4で示した根本的な疑問に答えることなく、国交省の計算を追認した。学術会議といつても、その大半は原子力ムラと同様の河川ムラに属する御用学者の面々であり、国交省の計算を否定することはもともとありうるはずがなかったのである。

#### 意見 6

国交省は過大な流量を算出する流出計算モデルと、科学性が疑問視される総合確率法で1/70～1/80は治水目標流量  $17,000 \text{ m}^3/\text{s}$  に相当するとしているが、科学的な計算法がある。それは、実績流量のデータそのものから確率計算を行うもので、これを流量確率法という。利根川の八斗島地点の実績流量（観測流量にダム調節量を加算した流量）を使って、流量確率法で1/80の流量を求めると、統計手法によって計算結果が異なるが、平均をとると、約  $13,000 \text{ m}^3/\text{s}$  になり、 $17,000 \text{ m}^3/\text{s}$  は明らかに過大である。

#### 意見 7

治水計画は基本的に過去の洪水の再来に備えるように策定されるべきで、一級水系の直轄区間の河川整備計画は近年最大の実績流量を目標流量としていることも少なくない。多摩川の場合は昭和49年の実績流量  $4,500 \text{ m}^3/\text{s}$ （石原地点）を目標流量としている。利根川の場合は、昭和20年代前半（戦争直後で森林が荒廃していた）を除いて最近60年間の実績を見ると、その最大洪水流量は1998年の約  $10,000 \text{ m}^3/\text{s}$ （八斗島地点）である。利根川の目標流量はそれに余裕を見た  $12,000\sim13,000 \text{ m}^3/\text{s}$  とすれば十分である。過大な目標流量を設定して、八汐場ダム等の不要な大規模河川施設を推進して巨額の河川予算を浪費することはもうやめるべきである。

#### 意見 8

昨年の東日本大震災を踏まえれば、設定した目標流量を超える未曾有の洪水が来る可能性は皆無ではない。その時に壊滅的な被害を受けないようにするための対策を河川整備計画に位置づけることが必要である。そもそも、今回のパブコメのように、治水安全度を先に決める河川整備計画の策定方法は、その治水安全度に見合う洪水までは安全を保証するが、それを超えた洪水が来れば、アウトになるという考え方であるから、そのようなやり方自体をやめるべきである。想定を超える洪水が来ても、壊滅的な被害を受けないようにする対策を推進する河川整備計画を策定しなければならない。

#### 意見 9

未曾有の洪水が来た時への基本的な対策は堤防を耐越水堤防に強化することである。未曾有の洪水が来ればダムは満杯になって洪水調節機能を失うし、堤防は計画高水位の洪水までに対してしか強度が保証されていないから、破堤するかもしれない。一挙に破堤すれば、流域住民の多くの生命が失われてしまうことになる。そのようにならないようにするために、越水しても簡単には破堤することができない堤防への強化を図り、同時に避難を速やかに行える避難体制を確立することが必要である。

#### 意見 10

越水しても簡単には破堤することができない耐越水堤防の技術として、比較的安価なハイブリット堤防が開発されてきているので、その技術を用いれば、利根川の堤防の主要部分を耐越水堤防に改良することは可能である。

#### 意見 11

以上述べたとおり、利根川水系河川整備計画の策定において治水安全度を設定して、それに相当する目標流量を机上の計算で算出する方法をやめるべきである。この方法をとると、必ず過大な目標流量が設定され、ハッ場ダムなどの不要な大規模河川施設の建設を位置づけるものになってしまう。治水安全度という考え方を改め、目標流量は多摩川のように近年最大の実績流量またはそれに多少の余裕を見た流量とすべきである。利根川の場合は  $12,000\sim13,000 \text{ m}^3/\text{秒}$  も見れば十分である。そして、万が一、その目標流量を超える未曾有の洪水が来た時に壊滅的な被害を受けないように、耐越水堤防への強化をすみやかに進める河川整備計画を策定すべきである。

#### 意見 12

利根川水系河川整備計画はハッ場ダム等の大規模河川施設の推進を自己目的化したものではなく、本当に流域住民の命を守ることができるものが策定されなければならない。関東地方整備局は利根川流域の住民の安全を守るために何が本当に必要なのかを流域住民と十分に議論する場を設けるべきである。

『利根川・江戸川において今後20～30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①氏名	[REDACTED]		
②住所	(都県名) 埼玉県	(市区町村名) 朝霞市 [REDACTED]	
③電話番号又は メールアドレス	[REDACTED]		
④年代	60歳以上	⑤性別	男性
⑥ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)			

意見 1

該当ファイル 000061901.pdf の別紙-2 の「年最大流量（八斗島）」の図表をみると、S11 から H19 までの 72 年間の最大流量は、S22 の「カスリーン台風のよると指摘されている流量」が突出して大きくなっている。しかし、この洪水流量は実測された値ではなく、計算流量として大きく水増しされている可能性が大である。このことは、少なくともこの 72 年間に実測されている洪水流量から、この流量だけが著しくかけ離れていることからもうなづける。これまでの八斗島で実測された最大流量は  $9,220\text{m}^3/\text{秒}$  と報告されている。今後 20～30 年の想定目標としては、過去の実績からせいぜい  $\sim 10,000\text{m}^3/\text{秒}$  が妥当と思われる。今回の目標のもとになっている基本高水  $22,000\text{m}^3/\text{秒}$  や目標流量  $17,000\text{m}^3/\text{秒}$  は、あまりに現実と乖離しているので、到底容認できるものではない。

意見 2

そもそも、今後 20～30 年の「利根川・江戸川河川整備計画」を策定するなら、まず、最初に議論すべきは、河川整備をどのように進めていくかという「理念」を構築すべきです。この「理念」なしに、最初に目標流量というような、一般国民には馴染みのない、具体的な数値を唐突に出すのは、本末転倒になっている。目標流量という数値で今後の議論を縛るのは、官僚の悪知恵というべきだろう。利根川・江戸川流域の住民がほんとうに望んでいることを、はば広く集めるのが最初にやるべきで、このパブコメの出し方自体が、本来のパブコメ募集の主旨からはずれた、姑息なやり方なので、到底容認できるものではない。

意見 3

洪水流量を計算する際の根拠になっている「貯留関数法」自体が、サイエンスになっていない。基本方程式のひとつの式は、右辺と左辺の次元が異なっており、これでは、サイエンスの方程式の「最低の要件」を満たしていない。無理矢理に次元を合わせるように係数に次元を付与すると、計算する際、独立に変化させていく 2 個のパラメータが一定の関係を持つ必要があり、独立には変化させることができないことを示す事ができる。つまり、「貯留関数法」による洪水流量の計算は、サイエンスの基本原則から逸脱しており、これに基づく計算は恣意的に行われている。意見 1 で記載した「計算による最大洪水流量」は、恣意的に決められたとしか考えられない。

差出人: [REDACTED]  
 送信日時: 2012年6月23日土曜日 13:40  
 宛先: tone-plan2@ktr.mlit.go.jp  
 件名: 「利根川・江戸川河川整備計画」事務局 御中

- ① 氏名 [REDACTED]  
 ② 住所 東京都文京区  
 ③ [REDACTED]  
 ④ 40  
 ⑤ Female  
 ⑥ 『利根川・江戸川において今後20~30年間で目指す安全の水準についての考え方  
 ー「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量についてー』

ご意見させて頂きます。

利根川・江戸川河川整備計画における治水対策はダムに頼りすぎです。それよりも国交省の方々は皆が無駄を承知であるにも関わらず自分達の予算を獲得する為に巨大なダム、高速道路、空港、etc etcを推進しすぎです。原発利権と同じです。

ハッ場ダムをみても、治水面でも利水面でも必要ない事は国交省の方々が一番よく知っていると思います。日本の将来を考えているのは納税者の私達だけで、税金で生活している役人＆官僚(とくに上層部)は税金を使うことしか考えていないと感じます。

今一度、ハッ場ダムは必要ないので即中止してください。ダム本体には 10 何%でそれ以外の道路や橋にこんなに予算がかかるダムなんて、数字の面からも必要無い事が明かです。  
 そもそも、氾濫する川を人間の力でどうにかしようという考え方方がおかしいと思います。  
 泛濫をいかに最少にとどめるか、氾濫して水没する地域は農地にして(日本の農業を活発にさせる為にも)人を済ませるべきではありません。

以下のリンクで良く勉強されて下さい、お願ひいたします。(こちらで良く勉強して頂ければあえて私がここで多く語る必要はないです)ダムに頼らないでも他に良い方法があります。  
 納税者として言います、これ以上税金の無駄遣い、環境破壊はやめてください。

以上よろしくお願ひいたします。

ハッ場ダムをストップさせる埼玉の会  
<http://yambasaitama.blog38.fc2.com/>

ハッ場あしたの会  
<http://yamba-net.org/>

ハッ場ダムをストップさせる千葉の会  
<http://yanbachiba.blog102.fc2.com/>

水源連のページ  
<http://www7b.biglobe.ne.jp/~yakkun/suigenrennope-z12.html>

河野太郎公式ブログ ごまめの歯ぎしり  
国土交通省スキャンダル

<http://www.taro.org/gomame/cat13/>

『利根川・江戸川において今後20~30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①□ 氏名	[REDACTED]		
②住所	(都県名) 東京都	(市区町村名) 小平市	
③電話番号又は メールアドレス	[REDACTED]		
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・ <input checked="" type="radio"/> 50代・60歳以上	⑤性別	男性・ <input type="radio"/> 女性

⑥ご意見

(意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)

1 気候変動による、ゲリラ豪雨などの被害をみると、首都圏の大河川である利根川・江戸川の治水がどうなっているかは市民の大きな関心事です。何故これまで河川整備計画がつくられていなかったのかも疑問に思うところですが、今回、その河川整備計画の一部、治水安全度のみを切り取って市民意見を求めていることにも違和感を覚えます。安全度上中下のうち中でよいですかといわんばかりの聞き方はかなり乱暴ではないかと思い、この提案が適切であるとは思えません。

2 ハツ場ダムの検証の際も利根川の予測最大流量やダムの洪水抑制効果について議論があったと記憶します。学者の間でも議論が分かれているときに、今回の治水安全度1/70~1/80に相当する流量は17,000という数値の信憑性を疑わざるを得ません。

3 安全度とともに、それに伴う整備計画のレベルと費用等が明らかにされなければ判断できません。河川整備計画の全体像を示された中で、治水安全度や目標流量についても検討できるのではないかでしょうか。河川整備計画の策定方法についての見直しを求めます。

『利根川・江戸川において今後20～30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①氏名	[REDACTED]		
②住所	(都県名) 東京都	(市区町村名) 小平市	
③電話番号又はメールアドレス	[REDACTED]		
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・50代・ <input checked="" type="checkbox"/> 60歳以上	⑤性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男性・女性
<p style="text-align: center;">⑥ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)</p> <p>今回の意見募集のやり方に反対します。 目標流量だけでなく、河川整備計画の全体を見せて意見を求めるべきです。 めざす治水安全度と、その実現のためにかかる費用（税金です！）や時間とのバランスを考えて、判断するべきです。</p>			

『利根川・江戸川において今後20～30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①氏名			
②住所	(都県名) 東京都	(市区町村名) 多摩市	
③電話番号又は メールアドレス			
④年代	60歳以上	⑤性別	男性

⑥ご意見

(意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)

(1) 今回の首題の件に関する意見募集について

(意見1)

1. 治水安全度だけを切り離して意見募集を行うのは全体を見ない造り方で誠に遺憾である。
2. 治水安全度だけでなく想定外の洪水が来ても、壊滅的な被害を受けない対策を河川整備計画の目標とすべきである。
3. 利根川流域住民の安全を極力早く確保出来る治水対策を厳選すべきです。
4. 利根川流域の住民の安全を守る為に何が本当に必要なかを流域住民と共に考え、流域住民との共同作業で河川整備計画を作成すべきである。

(2) 河川整備計画と安全の水準

利根川・江戸川の今後20～30年間の河川整備の内容である『利根川・江戸川整備計画』を定めようとしており、その目指す安全の水準を設定する事としています。

そしてハツ場ダム検証に於いての目標流量の設定17、000m<sup>3</sup>/秒等を行い…

(意見2)

1. 目標流量の設定値を大きく取りダム建設の根拠とし安全度、目標流量を求める声が有る事を持って17、000m<sup>3</sup>/秒を正当化しハツ場ダムの大きな治水効果を既成事実化しこれを組み込む計画だが全くおかしい。
2. 最近60年の八斗島地点の最大実測流量は1998年の10、000m<sup>3</sup>/秒でありを17、000m<sup>3</sup>/秒は巨大数値である。
3. よって目標値は、12、000～13、000m<sup>3</sup>/秒を治水目標値とすべきそれで、利根川流域の安全は十分に確保される。
4. 想定外洪水が来ても被害を受けない対策、堤防強化対策、耐越水堤防の技術導入も必要です。

(3). お願い

(意見3)

以上総合すると今回のパブリックコメント募集は、国交省が目指す大規模河川事業の推進へのアプローチを作るものでありこのような造り方では、利根川流域住民の安全を守る河川整備計画を作る事は出来ない。 利根川水系の整備計画の策定の仕方を根本から改めて戴く事を強く要望します。

—以上—

『利根川・江戸川において今後20～30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

氏名			
②住所	(都県名) 東京都	(市区町村名) 世田谷区	
③電話番号又はメールアドレス			
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・ <input checked="" type="checkbox"/> 50代・60歳以上	⑤性別	男性・ <input checked="" type="checkbox"/> 女性

⑥ご意見

(意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)

「利根川・江戸川において今後20～30年間で目指す安全の水準についての考え方」を閲覧しました。河川法16条の2および立法時の趣旨に照らして、この河川整備計画策定手続きにおける当パブリックコメントにはいくつかの重要な問題があると考えます。

(1) 最大のものは、「地域住民の意見を聞く」法律の趣旨を果たすという河川管理者の義務が果たされていないことです。1997年河川法において住民意見の反映が盛り込まれた趣旨は、河川整備・管理における目的の一つとなった「河川環境の整備」は、地域の歴史や文化といった地域の社会的バックグラウンドおよび、河川の恩恵と水害のリスクをともに受ける「当事者」である地域住民の想いや考えを計画に組み入れることなくして、達成することが不可能だからです。この手法は、現在の地球環境問題に発しあらゆる自然資源管理において要請される環境ガバナンスの必須の条件となっており、改正河川法をこの考え方を反映させたものと理解できます。したがって、形式としてのパブリックコメントを何度も行なうだけでは「住民意見の反映」は保障されず、基本的には流域委員会等の公共空間への住民参加が行われなければならないと言えます。淀川流域委員会に懲りたのかは存じませんが、少なくとも利根川水系においては「有識者会議」は何重にも行いながら、市民・住民は縮め出し、むしろ「住民意見の反映」を避けてきたと解釈せざるをえない事実経過です。この観点から、河川法16条の2は趣旨も含め遵守されたと言い難く、今回のパブリックコメントによって整備計画を進捗させることは手続き上の大きな問題があります。

(2) パブリックコメント単独のあり方としてみた場合も、「安全の水準の考え方」を問う内容が目標流量という数値だけを尋ねるものとなっていることは「住民意見の反映」の趣旨に反しています。というのも、住民(川の恩恵や水害を受ける当事者)は、川の安全や安心を目標流量の数値のみによって考えるのではありません。住民が治水について判断しようという場合、これまでの利根川の広範な歴史、自分や祖先の経験、さまざまな情報収集により得た知識、そして他の人々とのコミュニケーションによって行なうことを必要としています。それには、提示の「考え方」および諸資料によってのみでは不可能であり、「話し合い」という過程を必要としています。そうしなければ、それぞれの住民が享受する河川環境への影響や、水害を被ることの可能性について具体的に検討することはできません。したがって、このパブリックコメントのあり方には異議を申し立てざるをえません。

(3) 以上を踏まえ、現在行おうとしている「利根川・江戸川整備計画」策定手続きには、河川法の観点から重大な問題があります。拙速な手続きによる計画は必ずしも河川管理者と流域住民ひいて

は国民に大きな災禍と損害をもたらすことは、3.11のとくに原発震災から痛みを伴って学んだことあります。したがって、私たちが少なくとも、続く若い世代に対しても責任をきちんと果たすためには、長期的な視野に立ち、住民を参加させた委員会等を設置し、多くの人々と議論しながら合意形成を行った上で整備計画を策定すべきです。

(4) 最後に、パブリックコメントを企業や団体から求めることには異議があります。企業や団体には河川整備に関する業務上の利害を有するものも多く存在するため、数十年～100年単位の公益的な政策に関してのコメントを求めるることは不適切であり、あくまでも「有権者」である「国民」あるいは治水計画の利害関係者としての「個人」を対象とすべきです。

『利根川・江戸川において今後20~30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①□ 氏名	[REDACTED]		
②住所	(都県名) 東京都	(市区町村名) 武藏野市 [REDACTED]	
③電話番号又は メールアドレス	[REDACTED]		
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・50代・○60歳以上		⑤性別 <input checked="" type="checkbox"/> 男性・ <input type="checkbox"/> 女性
<p style="text-align: center;">⑥ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)</p>			

今般、ハッ場ダムを作るための前提として、利根川流域の検証がされているようですが、利根川流域の住民の安全を守るために、何が必要かを考えるべきです。  
 ダムを作れば解決するようなことではなく、その前に堤防の強化を避けることはできません。想定を超える洪水が起きたときに、壊滅的な被害を受けないよう耐越水堤防へ強化することが最重要と考えます。また、雨水浸透施設の設置や、ゲリラ豪雨に対応できるような配水設備等々行うべきです。  
 ダムはその上流にのみ降ったときには有効かも知れないが、どう考えてもそれよりは堤防を補強整備し、利根川流域を守ることの方が先にするべきことです。誰が考えても自明のことではないでしょうか。

差出人: [REDACTED]  
送信日時: 2012年6月23日土曜日 17:37  
宛先: tone-plan2@ktr.mlit.go.jp  
件名: 「利根川・江戸川河川整備計画」意見書の提出

利根川江戸川において今後20～30年間で目指す安全の水準にたいする意見

[REDACTED]  
松戸市 [REDACTED]

アドレス [REDACTED]

年代 60代  
女性

安全の水準だけをバブコメする意味が不明。財政や社会状況抜きに判断できない。昨年3月11日の東日本大震災、大津波そして原発事故で日本は大変な状況にある。天災も人災も人間の知恵が及ばぬ規模で起これり安全神話で守られていた原発も脆くも壊れた。そして大堤防や避難棟に頼った津波対策で多数の犠牲者が出了。河川についても洪水年数や流量の想定をするだけでは解決不能。被害を防ぐことための効率的な方法こそバブコメを！

利根川・江戸川において今後20～30年間で目指す安全の水準に対する意見

① 氏名 [REDACTED]  
 ② 住所 栃木県宇都宮市  
 ③ メールアドレス [REDACTED]  
 ④ 年代 50代  
 ⑤ 性別 男性

**意見1 20～30年で目指す安全の水準を定めて治水対策をする  
という考え方は無責任であり、現実的ではないことについて**

安全に流すことができる洪水の規模を決めて、それに向かって20～30年かかる川道改修やダム等の洪水調節施設を整備するという考え方では、20～30年間も、その目標流量を超える洪水が来た場合は勿論のこと、その目標流量以下の洪水であっても、安全に流せない状況が続くことを容認することになる。余りにも無責任な治水の考え方であると言わなければならない。

年超過確率1／70の洪水が、今年来るかもしれないというのに、20～30年もかけてその対策をするという考え方は、余りにも現実離れしたものといわなければならない。東日本大震災を経験した現在において取るべき治水対策は、近い将来において、どのような洪水が来ても、壊滅的な被害、とりわけ人命は1名たりとも失わしめないというものでなければならない。洪水による被害のうちもっとも深刻なのは、破堤によるものであることは過去の統計から明らかなのであるから、緊急に取るべきは、どのような洪水にも耐える粘り強い堤防整備のことである。

しかし、安全に流すことができる洪水の規模を決めて、それに向かって20～30年かかる川道改修やダム等の洪水調節施設を整備するという考え方では、このような現実的な対応が取れないことは明らかである。

このような考え方を放棄し、速やかにどのような洪水にも耐える粘り強い堤防整備の整備に全力を上げるべきである。

**意見2 ハッ場ダム建設事業の検証が検証の名に値しないことについて**

ハッ場ダム建設事業については、今後20～30年間で目指す安全の水準を

表す「河川整備計画相当の目標流量」の設定（ $17,000 \text{ m}^3/\text{s}$ ）等を行い、・・・ハッ場ダム建設事業に関する対応方針が決定されたとして、あたかも、ハッ場ダム建設事業の検証により  $17,000 \text{ m}^3/\text{s}$  がお墨付きを与えられたかのように述べている。

しかし、日弁連が本年 5 月 2 日に公表した「ダム事業の検証の抜本的見直しを求める意見書」にもあるとおり、ハッ場ダム建設事業の検証は、事業主体とは独立の機関が行ったものではなく、事業主体自らが行っている点で公正さに欠けるものである。この検証がなされたことによって、目標流量  $17,000 \text{ m}^3/\text{s}$  にお墨付きを与えられた等ということはできない。

### 意見 3 年超過確率 $1/70 \sim 1/80$ は高すぎること

現在パブリックコメントが求められている社会资本整備重点計画（素案）によると、堤防等の整備状況は、当面の目標（大河川においては 30 年～ 40 年に一度程度）に対しても 6 割程度に止まっているとしている（8 頁）。

いかに資産が集まっているからと言って、この目標を利根川水系のみ、70 年～ 80 年と 2 倍もの安全度を求めるのは、余りにも公正さに欠けるだけでなく、その実現性さえも危うくするものである。

### 意見 4 目標流量 $17,000 \text{ m}^3/\text{s}$ は過大であること

200 年に一度とされるカスリーン台風時に八斗島で観測された流量は、 $15,000 \text{ m}^3$  とされており、今回の  $17,000 \text{ m}^3/\text{s}$  は、これを大幅に上回り、過大である。同様に、戦後 67 年間においても、このような洪水がなかったことに照らしても同様である。これは流量算出の仕方に問題があるからであろう。

目標流量を定めて洪水対策をとることの問題点については、意見 1 で述べたが、仮に、このような考え方を取るとしても、実績流量を前提にした流量とすべきである。

差出人: [REDACTED]  
送信日時: 2012年6月23日土曜日 17:48  
宛先: tone-plan2@ktr.mlit.go.jp  
件名: 「利根川・江戸川河川整備計画」意見書の提出

利根川江戸川において今後20～30年間で目指す安全の水準にたいする意見

[REDACTED]  
松戸市 [REDACTED]

アドレス [REDACTED]

年代 60代  
女性

安全の水準だけをバブコメする意味が不明。河川の氾濫による洪水について想定外な雨流量を考慮する必要があるが、いくら想定を高くしても万全はない。洪水の想定年数や想定流量を必要以上に高く見積もることでダムや堤防に巨額な税金を使うことは許されない。原子力ムラに真似て「河川ムラ」と言われるような利権構造を守る政策は許せない。利権に繋がる学者は止め、利権に関わらない学者・有識者の意見を尊重してほしい。

『利根川・江戸川において今後20~30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①氏名			
②住所	(都県名) 群馬県	(市区町村名) 前橋市	
③電話番号又はメールアドレス			
④年代	50代	⑤性別	女性

⑥ご意見

(意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)

関東地方整備局が今回のパブリックコメントにおいて提示した「安全の水準」は、昨年、八ッ場ダムにおいて同局が唐突に設定したものです。

昨秋、同局が出た「八ッ場ダム事業継続妥当」という結論に対しては、パブリックコメントで国民から多数の反対意見が寄せられ、その中には、「安全の水準」の非科学性についても厳しい指摘が数多くありました。しかし、国土交通省は国民の真摯な意見を無視し、「やらせパブコメ」を黙認して八ッ場ダム事業継続への道を開きました。

昨年の経過と同様、今回のパブコメにも、国民軽視の河川行政の姿勢が現れています。

パブコメの資料には、「目標流量」、「年超過確率」などの専門用語が並べられており、一般国民の理解の妨げになっていますが、これは河川整備計画の策定作業について国民の目を欺くもので、説明責任を果たすという行政のあり方からかけ離れています。

資料の別紙には、戦後間もなくのカスリーン台風洪水の被害状況の写真やデータなどが掲載されています。カスリーン台風級の水害に備えるために治水安全度を高めることが必要だと訴えるためであると考えられますが、カスリーン台風洪水の災害は、赤城山麓に大量に降った雨による土砂災害なども大きな要因であり、実際の水害をつぶさに検証すれば、利根川の目標流量を高めることが水害を防ぐことには繋がらない場合が数多くあることが明らかです。

昭和22年のカスリーン台風以降、治山事業、河川改修・ダム建設などの治水事業が長年、税金を投入して実施されてきましたが、これらについて一切触れることなく、「利根川の氾濫域は、カスリーン台風当時と比べ、都市化や地盤沈下等により、被害ポテンシャルが増加している」と説明しているのは、事実を歪曲していると言わざるをえません。

わが国における近年の水害は、想定外の集中豪雨による内水氾濫、脆弱な堤防の漏水、破堤などが主です。机上の計算によって治水安全度を設定するという、従来の河川行政の手法では、これら実際の水害を防ぐことに限界があります。

今後20~30年先を見据えた河川整備計画を策定するに当たっては、これまでの治水対策がどのような効果を生んできたのか、弱点がどこにあるのかをまず確認する作業が必要です。そ

して、今後どのような対策を講じれば流域住民の安全を確保できるのか、負担額、事業にかかる年数などすべての試算を公開した上で、様々な立場の流域住民、識者、行政が議論を積み重ねることによって初めて共通認識が生まれ、相互の信頼に基づいた河川整備計画策定の条件が整います。

今回のパブリックコメントは、こうした民主的な手法とは対極にあります。

今回の利根川河川整備計画の策定作業は、官房長官裁定によりハッ場ダム本体工事着工の条件に河川整備計画が入れられたことがきっかけとなりました。目標流量という一つの項目のみを取り出し、拙速にパブリックコメントを実施するのは、ハッ場ダム本体工事の早期着工を目指しているためと考えられます。

ハッ場ダム事業自体が孕む矛盾は、事業主体である関東地方整備局が最もよく承知している筈です。膨大な関連事業の遅れ、地形・地質を無視した杜撰な計画の危険性、これらを伏せて、ダム計画を正当化するために実施する今回のパブリックコメントに強く抗議します。

(別添：意見提出様式)

『利根川・江戸川において今後20～30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①氏名			
②住所	(都県名) 千葉県	(市区町村名) 市川市	
③電話番号又は メールアドレス			
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・50代	60歳以上	⑤性別 男性 <input checked="" type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/>
⑥ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)			
<p>「治水安全度1/70～1/80」治水目標流量17,000m<sup>3</sup>/秒          今更言って下すことと違います。</p> <p>こんな恣意的な計算にエリ、いらない公私事業の見本である「八ッ場ダム」建設には絶対止めて下さい。何よりも責任をとらなくては          より、国家公務員であるのも少しは良心的          もって仕事をして下さい。</p> <p>それよりも集団豪雨による内川氾濫への対策を          依頼するよりです。</p>			

(別添：意見提出様式)

『利根川・江戸川において今後20~30年間で目指す安全の水準についての考え方「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について』に関する意見

①氏名			
②住所	(都県名) 千葉県	(市区町村名) 佐倉市	
③電話番号又は メールアドレス			
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・50代・60歳以上	⑤性別	男性・女性
⑥ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)			
<p>目標流量、17000<sup>3</sup>m/hは過大すぎます。及ぼす影響も60年向利根川の流量は10000<sup>3</sup>m/hを越えることになる、等です。何故この事を公表しないのですか。 以後世に恵みない住民や子供達です。</p> <p>形にはかくいはまつて、分明正しくは述べて下さい。 しかし、易々とありその河川整備計画は及ぼします。</p>			

0077

(別添: 意見提出様式)

『利根川・江戸川において今後20~30年間で目指す安全の水準についての考え方ー「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量についてー』に関する意見

①氏名			
②住所	(都県名) 埼玉県	(市区町村名) さいたま市浦和区	
③電話番号又は メールアドレス			
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・ <input checked="" type="radio"/> 50代・60歳以上	⑤性別	男性・ <input checked="" type="radio"/> 女性
<p style="text-align: center;">⑥ご意見</p> <p>(意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)</p> <p>目標流量など専門的で素人にはわからないような アドバイックメントを収集してしまおうとしている。 ダムは頼らない。治水を本気でやろうとしてない。 消費税を上げようという二本目時、ダムありきのやり方 は本当に日本の将来が心配です。</p>			

0078

(別添：意見提出様式)

『利根川・江戸川において今後20～30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①氏名	[REDACTED]		
②住所	(都県名) 千葉県	(市区町村名) 佐倉市	
③電話番号又は メールアドレス	[REDACTED]		
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・50代・ <input checked="" type="radio"/> 60歳以上	⑤性別	<input checked="" type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性
⑥ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)			
<p>・利根川木暮河川整備計画の策定では、何よりもまず「利根川流域」の住民の安全を守るために、今何が必要とされているかの議論を行って下さい。</p> <p>ハッ場ダムの複数で前提とした大きな治水目標流量17,000㎥/秒を正当化し、それによりて利根川においてハッ場ダム建設事業はじめ過大な河川施設の建設を進める河川整備計画の策定は絶対にしないで下さい。</p> <p>・利根川においては治水対策として、ハッ場ダム建設は中止し、堤防の強化、耐越水堤防を強化することと、今後の治水対策の要となるます。しかし、堤防や首都圏氾濫区域堤防強化事業などの巨工事ではなく、人命を守ることを目的とする治水対策は最も費用効率の効果があり、長い間守れないものが造れなければなりません。</p> <p>・利根川木暮河川整備計画策定、食糧や全て税金で行われていますので、市民の大切な税金をムダに使わないで下さい。</p>			

『利根川・江戸川において今後20～30年間で目標する安全の水準についての考え方「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について一』に関する意見

①氏名			
②住所	(都県名) 千葉	(市区町村名) 佐倉市	
③電話番号又は メールアドレス			
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・ <input checked="" type="radio"/> 50代	60歳以上	⑤性別 <input checked="" type="radio"/> 男性・女性
⑥ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)			
<p>現実的と非現実的との割り振り判断下さいと思ひます。</p> <p>利根川の最近60年間の最大洪水実績流量は、1998年の約10,000m<sup>3</sup>/秒とのデータですがこれが現実です。</p> <p>国交省では治水の安全度を今後20～30年内に一度の大規模の洪水に対する河水流量を17000m<sup>3</sup>/秒といいますが現実的な数量しか思えません。</p> <p>可か非現実的な数量として想定外との視点で地盤や大津波又放射能被害とは違いせいぜい過去最大数量の1.2倍～3倍と想定するのか現実的な判断ではないでしょうか。</p> <p>するのか、完成すれば当然その後の維持管理費用ハサ場ダムが行なわれる利根川流域にかかるも必要となります。そのような手算は利根川流域の危険性の高いところの整備等に使われることから現実的と考えます。</p> <p>現実的と考えます。</p> <p>今後、少しずつ日本の財政事情から考えても現実的判断が求められてくると思ひます。</p>			

0080

（別添：意見提出様式）  
『利根川・江戸川において今後20～30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①氏名			
②住所	(都県名) 千葉	(市区町村名) 松戸市	
③電話番号又は メールアドレス			
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・50代・60歳以上	⑤性別	<input checked="" type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性
⑥ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)			

まず治水の安全基準とする  $17,000 \text{m}^3/\text{秒}$  の数字  
は机上計算による過去からの後追い数値に過ぎない。  
ハッキリ建設再開の治水効果として、従前から論議  
の対象にして来たが、この60年前の最大洪水から検討して  
も観測流量から見ても科学的根拠はない。  
むしろ今後20～30年前での安全を治水対策の目標  
にすべきは脆弱な利根川・江戸川の堤防強化である。  
住民のためにすべき問題にはすべきとすり替えてはいけない。  
これは原発再稼動と同じく利権者を守り $\text{“マヨウ”}$ と  
言って過言でない。

(別添：意見提出様式)

『利根川・江戸川において今後20~30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①氏名			
②住所	(都県名) 千葉県	(市区町村名) 佐倉市	
③電話番号又は メールアドレス			
④年代	20歳未満・20代・30代・ <input checked="" type="radio"/> 40代・50代・60歳以上	⑤性別	男性 <input checked="" type="radio"/> 女性
⑥ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)			

河川整備計画策定において、治水安全度について限定的  
にペグシメを導入今回のやり方に反対します。  
これまでの目標流量は50年に1度の洪水を $15,000m^3$   
程度として検討が行われています。  
この流量が $17,000m^3$ に変更されているのは整合性がよく  
過去の実績流量と比べても過大であり、科学的な根拠  
がありません。

何よりも流域住民の安全を守る治水対策を進める計画  
策定が求められます。利根川や江戸川の堤防を強化  
すること、都市型ゲリラ豪雨による内水氾濫への対策  
と困ることなど、実行性のある治水対策が必要です。

財政難の時代において、新たにダム開発に巨額の  
税投入をするのはされず、「最小の経費で最大の効果  
を得る」という原則に立ち返り、流域住民の参画による  
計画策定とするべきです。

(別添：意見提出様式)

『利根川・江戸川において今後20～30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流景について－』に関する意見

①氏名			
②住所	(都県名) 千葉	(市区町村名) 佐倉市	
③電話番号又は メールアドレス			
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・ <input checked="" type="radio"/> 50代・60歳以上	⑤性別	男性 <input checked="" type="radio"/> 女性 <input type="radio"/>
⑥ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)			

利根川流域住民の安全を守る治水対策として  
脆弱な堤防の強化対策、ゲート豪雨による内水氾濫対策などの実施が急務と考えます。  
利根川水系河川整備計画策定では、何より流域住民の安全を守るために、住民からの議論を行うことが重要な点であります。豪雨対策に下さる議論があり、巨額の費用を投下され  
しまう場合、その建設は行なべきではありません。

(別添：意見提出様式)

『利根川・江戸川において今後20～30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①氏名			
②住所	(都県名) 千葉県	(市区町村名) 佐倉市	
③電話番号又は メールアドレス			
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・50代	60歳以上	⑤性別 男性・女性

## ⑥ご意見

(意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)

この度の 利根川・江戸川における目標流量  
に関する意見募集として、関係する住民から多く意見と  
要望のことをうかべ、ハシ場ダム建設ありきの  
アリバイ作りのためのこの方法に反対です。  
ひとつ 葛西の住民にわかり易いやり方にすべきです。  
ハシ場ダムの工事に大雨が降るなら  
ハシ場ダムは役に立たません。  
下流域に集中豪雨がある場合、利根川は堤防は絶対に  
市街地に  
安全です。ダムより堤防の安全を強化すべきです。  
向かれる安全の水位が過大であり反対します。

0084

『利根川・江戸川において今後20~30年間で目指す安全の水準についての考え方―「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について―』に関する意見

①氏名	[REDACTED]		
②住所	(都県名) 埼玉県	(市区町村名) さいたま市	
③電話番号又は メールアドレス	[REDACTED]		
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・50代・ <u>60歳以上</u>	⑤性別	男性・ <u>女性</u>
⑥ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)			

河川整備計画全体の案で意見を求めるべきです。

このやり方に反対します。

最近の集中豪雨は短時間に局所的に降ります。住民は内水氾濫を一番心配しています。

これまでの考え方を変えてください。

『利根川・江戸川において今後20~30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①氏名			
②住所	(都県名) 千葉県	(市区町村名) 流山市	
③電話番号又は メールアドレス			
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・50代	60歳以上	⑤性別 男性・女性

## ⑥ご意見

(意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)

利根川・江戸川河川整備計画における治水対策に  
係る目標流量について 反対です 治水  
目標流量 17,000 m<sup>3</sup>/秒 は ハシ場ダム 正当化  
のためとか 聞かれました。 確かに 治水  
は 大事です 大昔から 河を治めることが、 国  
を治めるもの的重要な任務でした。 但し  
本大震災以降 特に 堤防の脆弱さがい  
かれています。 住民の安全を守ります。  
情報を公開し、 どうが危険か まず どうで  
き。 そして、 安全の在  
所に何が必要か、 そこから  
考えてみます

どうが危険か

(別添：意見提出様式)

『利根川・江戸川において今後20～30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①氏名			
②住所	(都県名) 千葉県	(市区町村名) 成田市	
③電話番号又は メールアドレス			
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・50代・60歳以上	⑤性別	男性・女性

## ⑥ご意見

(意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)

いつもいつも 湯下を想定に基く、公共工事を  
進めていくことに、賛成を申します。

本当に必要なところには「ハラカ湯下」は  
「ヨリカムカツ」国家公園として、やるべき  
仕事をしてこながた「正」でしょ。

「治川安全度170～180、治川目標流量17,000m<sup>3</sup>/s」  
反対です。 いいかげんに「ヨリカムカツ」  
止め下工。 必要のないものは湯川のように  
下水を捨てる使うこと「次世代にアレを残す行為」  
です。 良心に向川直し仕事を下工。

048-600-1436

0087

(別添：意見提出様式)

『利根川・江戸川において今後20~30年間で目指す安全の水準についての考え方ー「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量についてー』に関する意見

①氏名			
②住所	(都県名) 東京都	(市区町村名) 墨田区	
③電話番号又は メールアドレス			
④年代	20歳未満・20代・30代・ <input checked="" type="radio"/> 40代・50代・60歳以上	⑤性別	男性 <input checked="" type="radio"/> 女性
⑥ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)			
<p>、治水対策の目標流量を治水安全度1/70~1/80と して設定することに反対です。</p> <p>、御府の提案は、「人口・資産の集中している地域には 集中してたむとこうして安全性を高めよへ等」という 一見モロシム一般論か、論理的で邏輯的な目標 流量とみあわせて治水安全度1/70~1/80工事費工事費 とあります。実にサクセス感有ります。治水対策は時間 的、財政的制約が有りますから、治水安全度を上げる上では 直ちに災害防止、低減インフラがより御府自身よく 理解せんことを叶えたい。</p> <p>、八ッ場ダム本体工事を等率執行12月の予算執行率 は、トータル整備計画上の策定(完成)を条件として いるのですが、目標流量、換算式などの新規運用 される目的と立ち並びうれしいものです。策定の 目標流量を定められても、本体工事を等率執行 する場合は、日本標準の日本規とく 適用しません。食のための使い方をします。</p>			

(別添：意見提出様式)  
『利根川・江戸川において今後20～30年間で目指す安全の水準についての考え方—「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について—』に関する意見

①氏名		
②住所	(都県名) 東京都	(市区町村名) 小平市
③電話番号又は メールアドレス		
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・50代・ <b>60歳以上</b>	⑤性別 男性・女性
<p style="text-align: center;">⑥ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)</p> <p>今回の治水計画の目標は「(一)河川・(二)雨水収集施設等」に定められています。      目標流量については既定よりもではなく、河川整備計画全体を明確にして上で実施するのか、本末のあり方で悩んでるが、これまで検討されている案では1/50で15,000m<sup>3</sup>/秒になると、どうですか？ それが突然1/70～1/80で15,000m<sup>3</sup>になるとどう根柢は一体なぜかのか 謝辞より御用を承り下さり、  <span style="font-size: 2em; margin-left: 20px;">(2)(3)</span> </p>		

0089

(別添：意見提出様式)

『利根川・江戸川において今後20～30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①氏名			
②住所	(都県名) 東京都	(市区町村名) 小平市	
③電話番号又は メールアドレス			
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・ <input checked="" type="radio"/> 50代・60歳以上	⑤性別	男性・ <input checked="" type="radio"/> 女性
<b>⑥ご意見</b> (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)			
① 「今後20～30年間20m/s可安全の水準」だけを示し、これに対する意見を募集することは、おかしいと思います。しかも、とても理解しにくい説明で、研究者や専門家ではない、資本主義の意味がわかりません。			
② 安全水準を1/70～1/80で17000m³/sとある。このようですか。これには反対です。ハッカ場ダム建設の前提となるように出されたものではありません。			

(別添：意見提出様式)

『利根川・江戸川において今後20~30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①氏名			
②住所	(都県名) 千葉県	(市区町村名) 鎌ヶ谷市	
③電話番号又は メールアドレス			
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・50代・ <input checked="" type="radio"/> 60歳以上	⑤性別	<input checked="" type="radio"/> 男性・女性
⑥ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)			

治水安全度  $\frac{1}{10} \sim \frac{1}{80}$ 、治水目標流量  $17,000m^3/s$  と、これまでの  $\frac{1}{50} \cdot 15,000m^3/s$  よりも値をあげて利根極めて多く、本來的には、過去の洪水時の実績や河川整備計画全体の案の中で検討すべきものです。従故この方法は好まず。

『利根川・江戸川において今後20~30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①氏名			
②住所	(都県名) 東京都	(市区町村名) 文京区	
③電話番号又は メールアドレス			
④年代	20歳未満・20代・ <input checked="" type="radio"/> 30代・40代・50代・60歳以上	⑤性別	男性・ <input checked="" type="radio"/> 女性
<p style="text-align: center;">⑥ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)</p> <p>この資料を見ると、<math>17000 \text{ m}^3/\text{s}</math>の必要は、全く感じられません。<math>10000 \text{ m}^3/\text{s}</math>は、対応していると思います。まずは、<math>10000 \text{ m}^3/\text{s}</math>に対応していくべきで、それから少しだら、被害の多いやすいところの強化。<del>堤防</del> 避難誘導系統など、災害対策をしていくべきだと思います。</p>			

## 利根川・江戸川において今後20~30年間で目指す安全の水準に対する意見

氏名 [REDACTED]

住所 栃木県小山市 [REDACTED]

メールアドレス [REDACTED]

年代 60代

性別 男

## 意見1.

利根川、渡良瀬川（思川）は、もともと南流して江戸湾（現東京湾）に流れているものを徳川幕府の水運路の整備と新田開発を目的にその流路を東に向け、鹿島灘の銚子を河口にして流れていた常陸川に合流させ。水運に必要な水深や川幅を確保するために流域の中小河川の瀬替えや新規水路の開削をしてつなげられ、河川勾配が緩やかな水運のため水路として整備されたことから治水にとっては致命的弱点を持った河川に変質したと思います。また、利根川筋から東京湾へ流れる「江戸川」は、治水上利根川と一体となった活用が欠かせないのに、独自のしがらみを抱えているのでしょうか。

現在の利根川・江戸川治水の実態は、洪水を流す（実は流れない）より「流域に溜め込む」構造になっているように見えますが、それは危険を溜め込むことであり、これ以上は限界ではないでしょうか。

## 意見2.

あの3・11に遭遇した今日、治水に関しても想定を超えた地球規模の気象変動による大降雨見舞われない保証はありません。

姑息とも見える数字合わせの治水計画から脱却して、東遷依存の「利根川・江戸川治水」の問題点と真摯に向き合い、「溢れる」「避難する」をキーワードに、流域の「川上」「川下」住民が利害を超えて問題点を共有し合える仕組みを整え、『流域住民・有識者・自治体・国が一つのテーブルを囲む検討の場』こそが、今求められていると思います。

(別添：意見提出様式)

『利根川・江戸川において今後20～30年間で目指す安全の水準についての考え方－「利根川・江戸川河川整備計画」における治水対策に係る目標流量について－』に関する意見

①氏名			
②住所	(都県名) 千葉市	(市区町村名) 山武郡大網白里町	
③電話番号又は メールアドレス			
④年代	20歳未満・20代・30代・40代・50代・ <input checked="" type="radio"/> 60歳以上	⑤性別	<input checked="" type="radio"/> 男性・女性
⑥ご意見 (意見ごとにできるだけ200字以内で記載して下さい)			
<p>八斗島にあげる、          治水目標流量17000m<sup>3</sup>/秒は、過去のデータと          比較しても、未だ、最近60年内で最大実績流          量は1998年の10,000m<sup>3</sup>/秒であるからして、余りにも          かけ離れて、過大な数字であり、これを根拠に          した八つ場ダム計画は自詐に陥ります。</p>			